

發送せし雜誌書狀等返り來りし例あり、爾後必ず明瞭に認められ度候

□御送金の目的を明記せられざるため、往々二重に雜誌を發送する事有之候間、註文には必ず何月分或は何號よりと明記され度、明記なきため同一の雜誌を再び送りし時は、タトへ御返却あるも誌代は申受くべく候

□總て御投稿御註文の時は、一應會告又は註文規定等御一覽有之度候

□七月紀念號のため御頒ち可致繪畫の數ははすでに豫定に達し申候。これにて充分なれど、紀念號をして更により美しく致度存候まゝ、大下氏より猶十數様の繪畫を提供致され候間、御希望の方は速に御申出有之度候

近事

△日本水彩畫會二月例會は、二十七日午後より開會、出品二百十四點、永地、大下、戸張、藤島諸氏の批評あり、デツサンのコンクールにては、一二等赤城泰舒氏、

三等相田寅彦氏にして各賞品を受く、終つて構圖法について戸張孤雁氏の有益なる講話あり、後ち茶話會に移り、奇拔なる五分間演說等ありて薄暮散會したり。△神奈川縣程ヶ谷小學校にては、三月二十日より二十二日迄教育展覽會を開き、同時に日本水彩畫會横濱支部の水彩展覽會を催したり。

紹介

◎婦女界（神田表神保町同文館）

現今の婦人雜誌の多くが、營利的にて少しも教育上修養上に省る處なきを概し、純潔にして有益なる、眞に婦人の伴侶たり教師たるべく、此誌の發行を企たりとは、編者のいふ處、挿繪多く、内容豊富、記事また何れも健全なるは喜ぶべし（毎月一日發行一册十五錢）

◎黃薇青年（月一回一部五錢會員一ヶ年六十錢岡山市廣瀨町黃薇青年社發行）

◎精神治療新報（年四回一部金十錢東京芝區愛宕町精神研究會發行）

□本誌前號（六十）は十五日頃品切に相成候、一度品切の上は容易に手に入り申さず候間、前金御拂込はお忘れなく願上候

□大下氏筆『水彩風景畫帖』第一は、發行當時間もなく賣切相成居候處、今に御要求の方々有之候間、取置の分數十組（一組二枚、袋なし）此際送料共金參拾錢にて御需に應ずべく候、石版印刷は泰錦堂の手になり、精巧は他に比なく、著者に於ても満足致居候ものにて、再版は到底不可能につき、品切に相成らぬうち御注文有之度候

□大下氏著『水彩畫階梯』初版美裝のもの、極めて僅かの部數を剩し居候、特價送料共金參拾四錢（表紙の銀色に鍍あるもの）にて本會御取次可申上候

□『最新水彩畫法』上製送料共金壹圓八錢並製全七十三錢にて本會御取次可致候

□會友諸君のうちにて、文房堂割引券御入用の方は、返信料を添へて御申出ありたく候